



前東進路通信

令和4年4月18日
第2号

群馬県立前橋東高等学校進路指導部

■学部・学科選びで気をつけてほしいこと

1学期がスタートして約1週間が経ちます。皆さんは良いスタートがきれたでしょうか？今回は主に新3年、新2年向けに学部・学科選びで気をつけてほしいポイントをお話します。

○ポイント1 職業と学問とのつながりを理解する

例えば、将来就きたい職業が医師ならば、医学部に進む必要があるなどのように、逆算すると選択すべき大学・学部がおのずと決まってくることがあります。また、「先生になりたい」という場合、教員免許が取得できる大学・学部なのかどうかなど、資格についても同時に調べてみる必要があるでしょう。

○ポイント2 似た名前の「学部・学科」を比較する

大学では、学部・学科の新設や改組・名称変更が盛んに行われています。また似た名前の学部・学科でも学べる内容が異なることも多くあります。最近では文系でも入れる「情報学部」にその傾向が見受けられます。各大学のHPやシラバスなどを調べて、いろいろな学部・学科を比較検討しましょう。

○ポイント3 いざとなった時に柔軟に考えられるようにする

自分の目指す学部・学科が難しいからといって、今の段階で諦める必要はありませんが、柔軟に考えられるようにすることは大切です。例えば、「診療放射線」は最近人気ですが、関東の国公立大では県民健康科学大・茨城県立医療大・東京都立大ぐらいしかありません。私立大でも県内なら群馬パース大のみで、関東でも7校ぐらいしかありません。つまり、受験生が皆同じ大学を受験するため、学力が不足していたり、共通テストで失敗したりすると、全て不合格になり行き場がなくなることになります。例えば、「診療放射線」がダメなら「看護」に変えられるなどの柔軟性を自分の中に残しておくことは重要です。

■今年度の大学入試のスケジュール(国公立大)

日 程		一般入試日程	総合型・学校選抜型入試日程
7月	7月31日まで	○各大学選抜要項(日程・定	
8月			
9月	9月1日～	○大学入試共通テスト受験案内 ○大学入試共通テスト検定料払込等	○総合型選抜出願開始
10月	10月	○大学入試共通テスト出願	○各大学総合型選抜実施
11月	11月1日～		○総合型選抜合格発表 ○学校推薦型選拔出願開始 ○各大学学校推薦型選抜実施
12月	12月1日～ 12月15日まで	○各大学募集要項発表	○学校推薦型選抜合格発表
1月	1月14日(土)・15日(日) 1月21日(土)・22日(日) 1月23日～2月1日	○大学入試共通テスト本試験 ○大学入試共通テスト追試験・ ○2次個別試験出願	
2月	2月25日	○前期日程試験	
3月	3月8日～	○中期日程試験	
	3月12日～	○後期日程試験	

今年度の国公立大学の入試スケジュールです。「大学入試共通テスト本試験」は2023年1月14日(土)、15日(日)に実施されます。2次個別試験の出願は1月23日～2月1日です。この期間に前期・中期・後期日程を全て出願します。総合型選抜の出願は9月からで、試験は主に10月に実施されます。学校推薦型選抜の出願は11月からで、試験は主に11月から実施されます。総合型・学校推薦型選抜は、それぞれの大学によって選抜の日程が異なるので、要注意です。総合型・学校推薦型選抜を考えている人は、1学期中から志望大学のHPをチェックするよう心がけてください。私立大学のスケジュールは次号でお知らせします。

■新1年生から新しい学習指導要領が実施されます！

本年度入学の新1年生は、新しい学習指導要領のもとで学ぶことになります。科目構成の変化に伴って、新1年生が3年次に受験する「令和7年度大学入試共通テスト」も変わります。新たな出題教科・科目として、「歴史総合」・「地理総合」・「公共」・「情報Ⅰ」が加わります。「情報Ⅰ」については、旧学習指導要領から「情報デザイン」や「プログラミング」「データ活用」といった分野が追加され、いずれも情報技術を活用した問題解決力を養成するような内容となります。学習指導要領が大きく改訂されるため、共通テストのみならず各大学の個別試験の出題教科・科目も注目されています。各大学の入試科目の変更等は2年程度前に予告するルールになっており、遅くとも今年度末（2023年3月頃）までには公表されると思われます。情報が入り次第、この進路通信でも取り上げようと考えています。本校では「歴史総合」・「情報Ⅰ」を1年次で学ぶことになっています。新1年生は、普段の授業が入試に直結すると考えて、しっかり学習に取り組んでください。

英語検定に向けて準備しよう！

今年度も本校では、英語検定の全員受検を予定しています。大学によっては、英検のスコアが入試に使えたり、出願資格の一つであったりします。例えば、東洋大学は昨年度一般入試前期日程において、全13学部で、英語外部試験利用入試を実施しました。いずれの場合も、基本的に英検2級以上が目安となりますので、2級以上の取得を目指して頑張りましょう。

○6月3日(金)第1回 3年生対象

○9月30日(金)第2回 2年生対象

○1月20日(金)第3回 1年生対象

○大学を知ろう！第1回 前橋工科大学

特徴1 2つの学群からなり、県内で唯一建築系が学べる。

前橋工科大は今年度から「建築・都市・環境工学群」と「情報・生命工学群」と大きく2つの群に改組されました。1年次ではどちらの学群でも「教養基礎科目」・「工学基礎科目」・「学群共通科目」を学び、2年次からそれぞれが専門的なプログラムを選択するというシステムです。群馬県内で唯一建築系の学問が学べる大学であり、「建築・都市・環境工学群」は人気があります。

特徴2 一般入試は、「前期日程」と「公立中期日程」。「前期日程」の2次個別試験は数学のみ。

入試については、昨年度、総合型選抜及び学校推薦型選抜ではプログラム別、一般選抜では学群別に募集しており、今年度どうなるか注意が必要です。また、昨年度から後期日程を廃止し、「前期日程」と「公立大中期日程」となりました。前期日程の2次個別試験は「数学」のみで出題範囲は「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B」です。昨年度は、改組に伴う移行措置として「数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B」の範囲で解答できる問題を選択できました。昨年度の先輩達はこの措置のおかげでかなり救われましたが、今年度はなくなるでしょう。志望する人は数Ⅲまでしっかり学習しておいてください。公立大中期日程の2次個別試験は小論文のみです。

○連載企画 先生が語る学習法 第1回 数学 大堀先生編

高校時代は数学が一番苦手でした。3年間通して30点を越えた定期テストはありません。8点しか取れなかったこともあります。しかし入試では挽回、センター試験も満点。数学が苦手だった私が見つけた最も効率の良い学習法を伝えます。

それはズバリ「解きなおしを徹底すること」です。そして最も重要なことは「記憶が残っているうちに」やること。

- ① 授業で習ったその日、習った問題をもう1度解いてみる。
- ② 模試をやったその日のうちに解答を確認→間違っていたものを解きなおす。
- ③ 定期テストが返却されたその日のうちに間違った問題を解きなおす。

エビングハウスの忘却曲線を知っていますか？1日後には教わったことの67%を忘れてしまうのです。だからこそその日のうちにやることです。数学は「読む」だけでは分かりません。「解く」ことです。いきなりは難しいですが、まずは1問だけでも解いてみることを。これを毎日続ければ皆さんの学力は絶対に上がります。